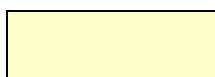


完了実績報告書 記入例

この記入例では、入力方法の種類ごとに色分けして説明しています。



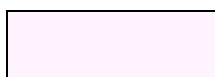
黄色は 交付申請者が入力する項目です



緑色は 自動で入力される項目です



青色は 建築士が入力する項目です



桃色は 手書きで記入する項目です



灰色は 事務局で使用する欄です

完了実績報告書（交付申請番号入力シート）記入例 ＜提案型（長期認定を取得しない）・補助率方式＞

※この入力シートは提出の必要はありませんが、必ず確認・入力してください。入力をしないと他の様式類の計算が正しく表示されません。

＜交付申請番号入力シート＞（完了実績報告書）

補助額（100万円/戸）の場合は「4」、
補助額（200万円/戸）の場合は「5」が付番されています。

- 1 交付申請番号を入力してください。

交付決定通知書に「交付申請番号」が記載されています。

交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号			
	2	9	1	2	3	4	5	6	7	8	4	0	0

※ここに入力した交付申請番号は各様式の上部に反映されます。

※完了実績報告後に、事業者ポータルサイトで再度ご提出していた場合は、完了実績報告の記載

交付決定通知書に記載されている交付申請番号を転記してください。

※ここに入力がない場合、他の様式類の計算が正しく表示されません。

※完了実績報告後に、上記に入力した補助金交付申請番号や様式内の記載事項の誤記が見つかった場合や、様式の記載事項の修正が必要になった場合は、様式を再度ご提出していただきます。
交付申請番号や様式の記入事項に間違いがないか、もう一度確認してください。

- 2 「申請タイプ」「事業タイプ」を確認してください。

申請タイプ	事前採択タイプ
事業タイプ	提案型

※交付申請時と同じであることを確認してください。
異なっている場合は、「● 1」で入力した交付申請番号を確認してください。

- 3 注意事項

- (1) 提出書類に不足はありませんか。
次のシート「提出書類チェックシート（完了実績報告用）」で確認してください。
揃っていることを確認したら「チェック欄」に印を付け、**完了実績報告書と一緒に提出**してください。
- (2) 作成した様式データの最終版は、必ず保存してください。

必ず確認してください

完了実績報告書（チェックシート）記入例
 <提案型（長期認定を取得しない）・補助率方式>

提出書類は表の番号の順にまとめ、A4フラットファイル(縦)に綴じて提出してください。

チェックシート(完了)B

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号					
提案型		29	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	4	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

提出書類チェックシート（完了実績報告用）B

シートは次の申請に対応したものです。

事業タイプ	長期優良住宅(増改築)認定	補助金算出方式
評価基準型・提案型	取得しない	補助率方式

交付申請時に作成した最終版の様式を使用してください。変更があった場合は、変更後の最終版の様式を使用してください。

番号	番号	提出書類 (全て片面印刷としてください)	適用	申請者 チェック欄	* 支援室 記入欄
①	11	平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金完了実績報告書(兼、請求書)	必須 この様式のみ事業者ポータルサイトからダウンロード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	—	提出書類チェックシート(完了実績報告用) ■このシートです■	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	12	完了実績報告概要書	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④	13	建築士による工事内容確認書	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤	5	性能向上リフォーム工事内容一覧表(補助率方式用)◆	必須 ただし三世代同居対応改修工事のみの申請の場合は不要	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥	5の2	三世代同居対応改修工事内容一覧表(補助率方式用)◆	三世代同居対応改修工事を補助対象とする場合	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨	—	工事内容を確認した建築士の 建築士免許証 の写し	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩	—	工事内容を確認した建築士が所属する 建築士事務所登録証 の写し(確認費用を補助対象とする場合)	確認費用を補助対象とする場合	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬	14	リフォーム工事箇所の工事写真	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑭	—	リフォーム瑕疵保険の付保証明書の写し	費用を補助対象とした場合	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑮	—	リフォーム工事の費用の支払いが確認できるもの(領収書等)	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑯	—	インスペクション等※の費用の支払いが確認できるもの(領収書等)	補助対象とする費用に限る	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑰	4	交付申請概要書	(必須)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑱	6	交付申請額算出表(補助率方式用)	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑲	7	建築士によるリフォーム後の住宅性能に係る基準の適合確認書(評価基準型等)	(必須)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑳	8	リフォーム後の住宅性能に係る基準等の適合状況確認書及び単価積上方式による補助対象工事費の算出表★ ※補助対象工事費を算出する部分を削除しています。	必須	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉑	—	リフォーム後の住宅性能に係る基準の適合を確認した建築士の 建築士免許証 の写し	(必須)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉒	—	リフォーム後の住宅性能に係る基準の適合を確認した建築士が所属する 建築士事務所登録証 の写し	確認費用を補助対象とする場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉓	—	「リフォーム後の住宅性能に係る基準の適合状況確認書」で建築士が 適合確認のために用いた図書 等	変更に関する技術的審査のみで使用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉔	—	維持保全計画書の写し	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉕	—	リフォーム工事箇所、工事内容、工事の数量がわかる図面(平面図、立面図、詳細図、仕様書など)	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉖	—	変更に関するリフォーム工事の請負契約書等の写し、及びその内訳書	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉗	—	変更に関するインスペクション等※に関する契約書等の写し	(必須)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉘	—	その他支援室が確認に必要と判断するもの	支援室が提出を求めた書類がある場合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

必要書類が揃っているか確認し、手書きでチェックしてください。提出不要のものは斜線を引いてください。

(注) 申請者チェック欄は、書類を確認したら「レ」印を、該当しない場合は「/」斜線を引いてください。

◆ 交付申請時に作成した様式を活用し、様式右側の「工事完了時建築士チェック欄」により、リフォーム完了後にこの様式のとおり工事が行われたことを建築士の現地確認により確認した項目にチェックを入れ完了実績報告時に提出してください。

(必須) リフォーム工事の内容や事業費の増減を伴う変更等により交付申請時から変更となる場合に提出が必要です。
 ※ インスペクションの実施、リフォーム工事の履歴情報としての図面作成等、維持保全計画の作成及びリフォーム瑕疵保険への加入を表す

交付申請時から変更がある場合に提出必要な書類です。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式11）記入例
 <提案型（長期認定を取得しない）・補助率方式>

事業者ポータルサイトからダウンロードし印刷してください。

この記入例で 緑色 になっている部分は自動入力されます。記載に変更がある場合は、支援室にご連絡ください。変更の手続きをご案内します。変更の手続きが終わりましたら、印刷し直してください。

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号				
提案型		29	1	2	3	4	5	6	7	8	-	4	0	0	1

報告日 平成 30 年 2 月 9 日

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業完了実績報告(兼、請求書)

平成29年6月24日 付け29長リ01第 0100-12345678-4001号をもって交付決定の通知を受けたので、平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金交付規程第10第1項の関係書類を添え、下記のとおり報告します。

提出する年月日を油性のボールペンで記入してください

また、長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室が、本報告書に基づき、交付すべき補助金を確定したときは、同規程第10第1項の定めるところにより、平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金に係る国庫補助金等交付決定通知書（交付決定通知書）を作成し、交付決定通知書右上の日付、番号を記入してください

交付決定通知書右上の日付、番号を記入してください

補助事業者

法人・個人事業主等の名称	アガナカシタインテック		支店・事業所名	アガナ インテック	
代表者	氏名	アガナ インテック	役職等	代表取締役	法人印 (個人事業者の場合は実印)
法人・団体等の住所	〒123-4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇				
電話番号	012-345-****	法人番号	123456789****		



法人の場合は会社の代表者印です。代表者の個人の印ではありません。

交付申請する住宅の所在地等

住宅の所在地(住居表示)	〒123-4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇		
建物名称	〇〇マンション A棟	部屋番号	1

交付申請書に押印した印と同じ印

工事発注者(共同事業者) ※補助事業者が買取再販業者の場合は記入不要です。

名称・氏名	アガナ ●●	
住所	〒123-4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇	

補助金の交付決定額及び精算額

補助金の交付決定額	13,504 千円
補助金の精算額	13,504 千円

「補助金の交付決定額」は交付決定通知書の「交付決定額」、
 「補助金の精算額」は変更がなければ「交付決定額」を、変更があれば「変更後の補助額」を記入してください

補助事業の実施期間

平成29年6月26日 ~ 平成30年1月21日

工事請負契約書に記載された工期の始期から終期(引き渡し日)を記入してください
 工期を変更した場合は変更後の工期を記入してください

補助事業の成果

別添書類のとおり

補助金の請求

請求額	交付すべき補助金の額として、支援室が確定した額とする。
振込先	事業者ポータルサイトに登録した振込口座とする。

(注意事項)

- 完了実績報告書は、1住戸(共同住宅・長屋で建物の全体の工事を含む場合は1棟)につき1枚作成してください。
- 修正液、訂正印での修正はできません。記載事項に誤りがある場合は、事業者登録システムの情報を修正し、再度印刷してください。
- 記入、押印漏れ、提出書類の不足がある場合は、完了実績報告の受付は行いません。
- 報告日の記入が漏れていた場合は、完了実績報告書の到着日を報告日として扱います。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式12）記入例
 <提案型（長期認定を取得しない）・補助率方式>

・交付申請時から一切の変更がない場合でも様式は提出してください
 ・交付申請時から変更がある場合は、支援室に連絡ください。手続き等をご案内します。

交付申請手続きや変更に関する手続きを行った後から一切の変更がない場合や、下記の欄「変更の内容」に該当する項目がない変更の場合はチェック不要です

様式12

交付申請番号	年度		事業者番号								住宅番号				
	2	9	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	4	0	0

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

完了実績報告概要書

●共通

交付変更承認申請手続きの必要が無い変更の有無

<input checked="" type="checkbox"/>	交付申請時から変更がある	→ 「変更の内容」「工事費の変更」「補助額の変更」の欄の該当する項目にチェックしてください。
変更の内容 (何れかにチェック)	<input type="checkbox"/>	特定性能向上リフォーム工事に関するもの
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他性能向上リフォーム工事に関するもの
	<input type="checkbox"/>	三世帯同居対応改修工事に関するもの
工事費の内容 (何れかにチェック)	<input type="checkbox"/>	補助対象工事費の変更無し
	<input checked="" type="checkbox"/>	補助対象工事費の変更有り
補助額の内容 (何れかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/>	変更無し
	<input type="checkbox"/>	減額の変更有り

変更がある場合は項目ごとにいずれかをチェックしてください

インスペクションで確認した劣化事象の対応が交付申請時から変更がある場合はチェックし維持保全計画書を修正のうえ提出してください
 変更がない場合はチェック不要です

以下は、該当する欄を記入してください ~~~

●インスペクションで劣化事象を確認した場合

劣化事象に対する対応	<input checked="" type="checkbox"/>	交付申請時から変更がある	→ 変更後の対応をチェックし、変更後の維持保全計画書を添付してください。
	<input type="checkbox"/>	全て補修した	
	<input type="checkbox"/>	維持保全計画書に補修・点検等の対応内容及び時期を定めた	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部を補修し、他は維持保全計画に補修・点検等の対応内容及び時期を定めた	

●高度省エネルギー型の場合

変更の有無	<input type="checkbox"/>	交付申請時から機種等の変更がある	→ 変更後の内容でBELS評価書を取得の上、下記に値を入力し、BELS評価書(写し)も提出してください。
A	単位面積当たりの一次エネルギー消費量の設計値(その他除く)	(MJ/m ² ・年)	【太陽光発電を設置していない場合】 A/B ≤ 0.8
B	単位面積当たりの一次エネルギー消費量の基準値(その他除く)	(MJ/m ² ・年)	
C	太陽光発電による削減量	(MJ/m ² ・年)	判定

【太陽光発電を設置している場合】
 (A+C)/B ≤ 0.8

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式13）記入例
 <提案型（長期認定を取得しない）・補助率方式>

様式13

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号				
提案型		29	1	2	3	4	5	6	7	8	-	4	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

建築士による工事内容確認書

本報告に係る住宅リフォーム工事について、下記日付の現地確認において
 チェックシート※及び様式14の工事写真の通り実施されたことを証明します。

様式11に記載の住宅の所在地と
 同じであることを確認してください

証明する住宅

住宅の所在地 (住居表示)	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町●丁目〇		
建物名称	〇〇マンション A棟	部屋番号	101~504

共同住宅の場合は、マンション名などの
 建物名称を入力してください

現地確認日

平成 30 年 2 月 6 日

現地でリフォーム
 工事内容を確認した日を入力してください

証明する建築士個人の印です。↓

資格	(一級)建築士 (国土交通大臣)登録 第 〇〇〇〇〇〇 号	印
氏名	△△ □□	
建築士事務所	(一級)建築士事務所 (〇〇県)知事登録 第 ●-〇〇 号	建築士事務所の法人印ではなく 建築士の個人印を押印してください
建築士事務所名	〇〇株式会社一級建築士事務所	
所在地	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇	

※チェックシート：事業タイプに応じた次の様式の「工事完了時建築士チェック欄」

事業タイプ	チェックシートの様式
評価基準型（単価積上方式）	様式 8
評価基準型（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2
認定長期優良住宅型（単価積上方式）	様式 8 の 2
認定長期優良住宅型（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2
高度省エネルギー型	様式 5、様式 5 の 2
提案型（単価積上方式）	様式 8
提案型（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2
提案型（長期優良住宅（増改築）認定を取得）（単価積上方式）	様式 8 の 2
提案型（長期優良住宅（増改築）認定を取得）（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2

工事内容の確認で
 使用する様式です
 交付申請時に作成
 した最終版の様式
 を使用してください

(注意事項)

1. 建築士がリフォーム工事内容を確認し、本事業の工事内容の確認に要する費用を補助対象とする場合は、建築士事務所として登録されている事務所に所属している必要があります。
2. 建築士が工事内容の確認を実施可能とする住宅は建築士法第3条から第3条の3に基づき、保有資格ごとに設計・監理できる住宅とします。
3. 工事内容確認書を作成するにあたり、故意又は重大な過失による虚偽の記入・証明、未確認での記入・証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることがあります。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H29】長期優良住宅化リフォーム推進事業

完了実績報告書（様式14）記入例
 <提案型（長期認定を取得しない）・補助率方式>

- ・工事写真は全箇所必ず撮影すること。工事箇所の写真が1枚で入らない場合、1枚で特定できない場合は、様式を複数枚使用して作成すること。
- ・リフォーム工事箇所毎に、リフォーム着事前、施工中、完了後の写真が必要です。
- ・工事写真には看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載すること。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を撮影すること。
- ・サッシ交換など、同じ工事が複数ある場合は、全箇所を写真に記録し、完了実績報告時には、その内3箇所程度を選定し提出します。その他の写真は、審査時に必要に応じて提出を求める場合があります。

様式5、様式5の2に記載の番号を記入してください。

撮影箇所の着手日を入力してください

事業タイプ 提案型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号						
		2	9	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	4	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

リフォーム工事箇所の工事写真

この様式はリフォーム工事箇所1箇所につき1枚作成してください。

工事箇所番号 2	リフォーム工事箇所 リビング 南側	当該部分の着手日 平成29年 8月12日
着事前	工事内容の説明等 内窓設置前	撮影日 平成29年8月10日
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>着事前の写真 (遠景)</p> <p>〇〇邸 1、い〜る内窓撤去前 H29.8.10</p> </div>		<p>写真貼付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板等により、現場名、撮影日が確認できる情報を写し込むこと ・リフォーム工事の内容等が確実に分かる写真であること ・写真の縦・横の比率を変えないこと
施工中	工事内容の説明等 内窓取付中	撮影日 平成29年8月28日
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>施工中の写真 (遠景)</p> <p>〇〇邸 1、い〜る筋交い取付中 H29.8.28</p> </div>		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>施工中の写真 (近景)</p> <p>〇〇邸 1、い〜る筋交い取付中 H29.8.28</p> </div>
完了後	工事内容の説明等 内窓設置後	撮影日 平成29年9月20日
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>工事完了後の写真 (遠景)</p> <p>〇〇邸 1、い〜る筋交い取付後 H29.9.20</p> </div>		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>工事完了後の写真 (近景)</p> <p>〇〇邸 1、い〜る筋交い取付後 H29.9.20</p> </div>

リフォーム工事の内容等が確実に分かる写真としてください

現場名、日付入の工事看板を入れて撮影してください

<留意事項>

1. 工事写真は全箇所必ず撮影してください。リフォーム工事箇所毎に、リフォーム工事前、工事中、施工後の写真が必要です。
2. 工事写真には看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載してください。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を用いて撮影してください。
3. リフォーム工事を実施したことが確認できない場合は、補助金が交付できない、または減額となります。
4. 記入等は黄色いセルの部分のみとしてください。白いセルの部分は編集しないでください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式6）記入例
 <提案型（長期認定を取得しない）・補助率方式>

補助対象工事が含まれる契約のみ契約額を入力してください

記載内容に変更がある場合は
提出してください

様式6

事業タイプ 提案型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号						
		2	9	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	4	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

※様式5、様式5の2が未入力の場合は
交付申請額が計算されません。

交付申請額算出表（補助率方式用）

工事請負契約等の額（消費税抜）		単位：円	補助限度額ごとに活用する住戸数			
補助対象工事費（工事費、インスペクション等）を含む 契約書等の契約額を契約書ごとに入力してください。			事業タイプに応じて補助対象とする工事に該当する欄に 住戸数を入力してください。			
契約の種類	契約額（円）	事業タイプ	評価基準型 提案型	認定長期 優良住宅型 提案型	高度 省エネルギー型	
①：工事請負契約（インスペクション等が含まれていても可）	37,962,963	性能向上 のみ	20 戸 (1,000千円/戸)	戸 (2,000千円/戸)	戸 (2,500千円/戸)	
②：①以外の契約	4,629,630	三世帯同居対応改修 のみ*	戸 (500千円/戸)	戸 (500千円/戸)	戸 (500千円/戸)	
③：①②以外の契約	394,200	性能向上 + 三世帯同居対応改修	戸 (1,500千円/戸)	戸 (2,500千円/戸)	戸 (3,000千円/戸)	
④：①～③以外の契約		補助 対象 住戸 数	20			補助 限度 額の 合計
⑤：①～④以外の契約						上記のうち性能向上リフォーム分 20,000千円A
⑥：①～⑤以外の契約						上記のうち三世帯同居対応改修分 0千円B
⑦：①～⑥以外の契約						
契約額の合計	42,986,793					

*インスペクション等の費用は、三世帯同居対応改修の補助限度額500千円/戸
とは別に、事業タイプに応じた性能向上の補助限度額の範囲で申請できます。

インスペクション等の費用（消費税抜）		補助対象額の算定			補助対象額
補助対象とする場合は、該当する項目の補助対象額の欄に 契約書等の金額を入力してください。		補助対象額の算定	補助対象額 の上限②	補助対象額 の①②の 何れか低い額	
補助対象となる費用	発注者直接払い※1	契約額（円） ①	補助対象額 の上限（戸当たり）		
インスペクション費用★		220,000	150,000	3,000,000	220,000
リフォーム計画の作成費用		317,000	60,000	1,200,000	317,000
建築士による適合確認費用★		200,000	60,000	1,200,000	200,000
長期認定取得に要する費用	<input type="checkbox"/> 所管行政庁 <input type="checkbox"/> 評価機関		60,000	1,200,000	0
BELS評価書取得に要する費用	<input type="checkbox"/> 評価機関		30,000	600,000	0
建築士による工事内容確認費用★☆		200,000	60,000	1,200,000	200,000
維持保全計画書作成費用		30,000	30,000	600,000	30,000
リフォーム瑕疵保険の保険料（検査料含む）	<input type="checkbox"/> 保険法人※2	698,000	30,000	600,000	600,000
合計 (契約額のうち、インスペクション等の費用)		1,665,000			1,567,000

※1 建築士が行うものについては、建築士事務所登録されている場合に限り補助対象となります。
 ※2 買取再販業者の場合に限ります。
 ☆補助対象とする場合で交付申請時の適合確認と違う建築士が実施する場合は完了実績報告
 時に建築士事務所登録を確認します。

交付申請額の算出		単位：千円	
項目	補助事業に要する経費	申請額算定用小計	交付申請額小計
特定性能向上リフォーム工事費 (ユニットバス設置工事費を除く)	C1 (様式5より) 33,906 (千円)	C2=C1×1/3 11,302 (千円)	
ユニットバス設置工事費	D (様式5より) 0 (千円)	D2=D1×1/3 0 (千円)	
特定性能向上リフォーム工事費 (小計)	E1=C1+D1 33,906 (千円)	E2=C2+D2 11,302 (千円)	
その他性能向上リフォーム工事費 (高断熱浴槽設置工事費を除く)	F1 (様式5より) 5,260 (千円)	F2=F1×1/3 1,753 (千円)	
高断熱浴槽設置工事費	G(D) (様式5より) 0 (千円)	G2=G1×1/3 0 (千円)	
その他性能向上リフォーム工事費 (小計)	H1=F1+G1 5,260 (千円)	H2=[E2]+[F2+G2]の いずれか低い額 1,753 (千円)	
インスペクション等に要する費用	J2 (単位変換：J1/1000) 1,567 (千円)	J=J2×1/3 522 (千円)	
性能向上リフォーム工事 (合計)	K1=C1+D1+F1+G1+J2 40,733 (千円)	K2=E2+H2+J 13,577 (千円)	L:[A]か[K2]の いずれか低い額以下 13,504 (千円)
三世帯同居改修工事	M1 (様式5の2より) 0 (千円)	M2=M1×1/3 0 (千円)	N:[B]か[M2]の いずれか低い額以下 0 (千円)
合計	I=K1+M1 40,733 (千円)	交付申請額 13,504 (千円)	S:L+N以下 13,504 (千円)

1. 消費税等は除いた額を記入してください。
 2. 千円未満は、切り捨て処理としてください。
 3. その他性能向上リフォーム工事の補助額 (H2) は特定性能向上リフォーム工事の補助額 (E2) を超えることはできません。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

[H29]長期優良住宅化リフォーム推進事業

変更契約があった場合は契約額を追加
入力し、変更契約書と
内訳書、変更後の図
面等を提出してくだ
さい

様式5から転記され
ているか必ず確認
してください

補助対象事業費は
増額するが、補助
額を増額しない場
合はこの欄は交付
申請時の額を入力
してください

変更がある場合
様式11の「補助
金の精算額」欄
に転記してくだ
さい